

令和 3年 9月 22日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな

施設種類：認知症対応型共同生活介護

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

【報告内容】

1. 現況、活動状況報告

利用者様状況

- ・女性 8名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・4名、②・・・3名、④・・・1名
- ・平均介護度 1.75
- ・利用者様年齢 80歳代・・・4名
90歳代・・・5名
- ・平均年齢 91.1歳
- ・新規入居者、退去者
退居者1名 特養へ入居。
新規入居 9/24 1名入居予定
- ・感染症予防について
面会については、まだ中止としている。朝・夕の検温、職員の出勤前・出勤時の体温確認・消毒・換気は継続中。他事業所利用者の濃厚接触者の報告があり、家庭内での感染予防や万一発生した場合の対応について確認・周知を行う。
- ・入院、事故など
入院、事故の報告は無し
7月骨折のため入院されていた方は、8/20退院、ホームに戻られる。
車いすからの移乗動作が出来るまでに回復された。
- ・研修受け入れと採用
ハローワーク子育て・介護人材育成コース受講の研修生2名の受け入れを行い、グループホーム、デイサービスへ各1名が入職された。

活動状況

- ・季節の手作業・・・ 盆だんご作り、しそジュース作り、
秋のお彼岸（おはぎ作り）
秋の壁飾り（ブドウ）
- ・敬老のお祝い（9/16）
- ・建物周辺・団地内を散歩、畑の世話、家事作業、ラジオ体操、食前体操
- ・個別でボール体操、ペダルこぎ、パズル、花を生ける、調理
- ・9月の海岸清掃 職員1名が参加
- ・職員健診・設備環境チェック
- ・勉強会（急変時の対応、ガウンテクニック）

2、身体拘束等の適正化の取り組み

第3回 虐待防止・身体拘束廃止委員会

現状報告

- ・身体拘束を行っている事案はなし。
- ・センサーチャイム4名の方に使用中。
前回会議にて報告された、自分でセンサーを動かしておられた件について、その後の経過を報告する。

2回目虐待自己チェックを行う

コロナ感染症蔓延防止で実施できないためチェックが入った項目があった。しかしそれに影響されない項目で複数名のチェックが入っているものがあった。職員個々で意識や力量の差、業務を進める仕組みが実情と合わなくなったといった要因が考えられる。仕組みを再構築し、ケアの充実を図りたい。

〈行政より〉

- ・身体拘束、虐待について勉強会の動画もありますので、相談されるのも良いかと思えます。
- ・最近は動画や写真、たとえば実際の利用者が失敗をされた場面を動画・写真に残すことは虐待であると言われているため注意をしてください。

〈地域の方より〉

- ・動画写真も扱い方によっては虐待になるということを知りました。

〈ホームより〉

- ・お便りには利用者様の御姿・表情をわかりやすく見ていただけるため、写真を使っているが、写真や画像は撮る目的、使い方次第では虐待になることを改めて職員に注意を促し、適切な扱いに努めます。

3、その他

行政より

- ・外気温の高低差が大きいですが、体温調整に気を付けて過ごしてください。
- ・科学的介護推進体制加算について準備中。家族様には改めてご説明させていただきます。

以上